

nagomi

なごみ



JA愛知厚生連

江南厚生病院

2014.1 | vol.24

index

特集

● 年頭ごあいさつ

● 院内NST活動をご存じでしょうか？

トピックス

- 第3回 江南市認知症徘徊者搜索訓練
- 第2回 食育を考えるワークショップ・江南
- 平成25年度災害拠点病院災害訓練

おシゴト紹介

- 医学物理士

イベント紹介

- 公開医療福祉講座
- 院内コンサート
- リハビリ転ばん体操教室

お知らせ

- 看護学生インターンシップのお知らせ
- 医療技術職合同病院説明会のお知らせ
- 保険証の確認について
- 面会時間のご案内
- 編集後記
- 診療日カレンダー

病院理念

- 一. 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一. 私たちは患者さんの安心と信頼を得るよう努力します
- 一. 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します



年頭ごあいさつ

院長 野木 森 剛



新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え一言ご挨拶を申し上げます。

今春に控える8%への消費税の増税の問題は、皆様誰もの関心の的だと思います。消費税は輸出企業にとっては戻し税となり、負担はそれほどでもないかもしれません。しかし、私たち医療の現場は消費が主体ですので、多額の医薬品や資材を購入致します。それにはすべて消費税がかかってきます。意外に思う方も多いでしょうが、病院での治療費には消費税は含まれません。(国は診療報酬に上積みすると言っていますがどうなるか疑問です。)ですから病院経営上、消費税の上昇はとても大きな負の要因になると予想されます。

もう一つ、大きな問題を控えています。それは、健康保険制度の存続です。我が国の国民皆保険は世界に誇れるシステムであり、社会の安定のために守らなくてはならない制度だと思います。しかし、今この制度も危なくなってきました。安倍首相は賃上げを要請しておりますが、どの業種にとっても業績が改善しない中で賃金上昇は難題です。賃金の上昇がないままでは、円安による物価の上昇のみが先行し、消費が縮小してしまう恐れがあります。また、現

在の雇用形態をみると、企業における人件費削減のため、非正規労働者の著しい増加をきたして、平均賃金の低下をもたらしています。それが、年金、健康保険への加入率を低下させ、将来への漠然とした不安と、体調がすぐれなくても病院に受診できないという、負のスパイラルの要因になっております。この保険をゆるがすもう一つの要因として現在進行中のTPPへの参加があります。密室で協議がなされており、どんなことが決定されているのかよくわかりませんが、アメリカは日本の保険制度や医療保険、郵便局の保険などを崩して、アメリカの保険会社をそこに参入させたいと考えていると噂されています。製薬会社は知的所有権を盾に薬品の値段を下げないように画策するとか、ISD条項(投資家と国家の間の紛争解決に関する取り組み)により進出したアメリカの製薬会社や投資家から不当差別だと直接我が国が訴えられる可能性もあると言われてしています。

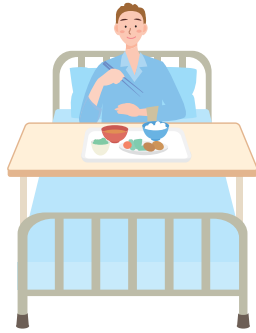
このように、医療を取り巻く環境は大変厳しいですが、皆さんの応援や職員の努力により、なんとか乗り切り、この地域の医療を守っていきたいと考えております。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

院内NST活動をどう存じでしょうか？

NSTとはNutrition Support Team(栄養サポートチーム)の略で、栄養に詳しい医師を中心に、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ技師などで実施・支援するチーム医療のことです。

栄養状態は病気の治療上、基礎となるものです。栄養状態に問題のある患者さんに適切な栄養療法を実施することで、栄養状態を改善・維持し、治療効果を高めることがNSTの目的となります。

当院NSTは、2011年より運用を開始し、栄養摂取不良、吸収障害、代謝障害などが原因で起こる栄養不良状態、手術や抗がん剤治療、放射線治療などで主治医から栄養療法が必要と判断された方に対し、それぞれの専門知識や技術を出し合い栄養必要量(経口あるいは静



脈栄養)や投与方法などの栄養プランを提案し、主治医と連携して栄養面から治療を支援しております。

これからも、栄養状態の改善に向け活動の幅を広げていくとともに、チーム一丸となりNST活動を通して治療効果を高めていくことを目指していきたいと考えております。



薬剤科(主任級)
前田 健晴

第3回 江南市認知症徘徊者搜索訓練

江南市認知症支援^{あい}ネットワークでは、第3回 江南市認知症徘徊者搜索訓練を11月1日(金)に実施しました。

今回は、「徘徊している方を発見したら声をかけ、保護する」ことを目標に、江南厚生病院を出発するルート1と江南団地を出発するルート2の2コースで、声かけの仕方等を訓練しました。ルート1では、病棟内で行方不明者が発生する設定で行ったことで、院内の行方不明者対応のマニュアルを見直す良い機会にもなりました。ルート2では、門弟山小学校や古知野高校の生徒たちが参加しました。

訓練には、JA愛知北、郵便局、岐阜信用金庫にも協力していただき、年齢・所属問わず、68名(1年目27名、2年目47名)もの方に訓練に参加していただくことができました。

「大丈夫、みんなで支える認知症」をスローガンに今後も江南市が認知症になっても暮らし続けることのできる街であるよう、街づくりに取り組んでいきます。



江南中部地域包括支援センター

TEL:(0587)51-3322

第2回 食育を考えるワークショップ・江南

9月21日(土)江南市民文化会館において愛知県厚生連主催の「第2回食育を考えるワークショップ・江南」(事務局:江南厚生病院栄養科)が開催され、厚生連職員、江南保健所管内栄養士および地域住民約200名が参加しました。

本ワークショップは、国が地域の食育活動支援のために設けた「地域食育推進事業補助金」を申請し、愛知県の承認を受け実施したものです。

当日は、尾崎隆男・江南厚生病院顧問の開会の辞に始まり、第1部の「地域における食育活動報告」では、深見沙織・江南厚生病院管理栄養士が「第1回食育ワークショップを振り返って～アンケート結果から～」と題し、昨年度のワークショップ参加者からのアンケート集計報告を交え、当院の食育活動について発表しました。その他に愛知江南短期大学、椋山女学園大学の食育活動報告がありました。

第2部の特別講演では、西村直子・江南厚生病院こども医療センター長が座長を務め、NHK教育テレビの「ひとりでもできるもん」の産みの親でもある相愛大学客員教授の坂本廣子先生に「生き抜く力をつける食育」と題してご講演頂きました。6歳までの食育が子供の将来に大きく影響することや何事も本物を体験させることの重要性など、いま子供に大切なことを再認識する良い機会となりました。最後に今枝加与・江南厚生病院副看護部長の開会の辞により会は盛況のうちに終了しました。



公開医療福祉講座

9月11日(水)「子どもの発達の問題に対する言語聴覚士の対応」というテーマで、言語聴覚士 松岡真由が、子どもの発達に応じた「ことば」の問題などについて、当院での実際の対応も含め、具体的にお話ししました。

10月22日(火)ピンクリボン月間「乳がんイベント」を、乳がん患者会「マミーズダイニング」と外科の共催で開催。患者会によるミニコンサートや、メーカー各社による商品展示、看護師による自己検診方法などを実施。公開医療福祉講座として、「乳がんについて～腋窩リンパ節郭清とリンパ浮腫～」というテーマで、乳腺・内分泌外科部長 飛永純一と赤堀主任看護師がお話ししました。当日は150名ほどの来院者があり、この地域での関心も毎年高くなっていると感じました。



9月11日

Event
イベント紹介

11月21日(木)「腎臓病のはなし」というテーマで、腎臓内科部長 平松武幸がお話ししました。関心の高いテーマであったのか、多数の参加者がありました。生活習慣に関わる日頃の注意や、糖尿病、腎臓病などの病気の事を詳しくお話ししました。予防にどう取り組むかの参考になった内容でした。



10月22日



11月21日

院内コンサート

9月18日(水)に大正琴生流菊八重会による大正琴ミニコンサートが行われました。民謡を口ずさみながら、皆さん楽しい時間を過ごしてみえました。

10月8日(火)に独学ピアニスト小塚謙一さんによるピアノ演奏会が行われました。リチャード・クレイダーマンをはじめ、数々の名曲をご披露いただきました。魅力のある演奏に、皆さん魅了されていました。

11月27日(水)に江南市を中心に活動中の「珈琲フレンズ」によるオカリナコンサートが行われました。会場全体が癒しの音楽に包まれていました。



9月18日



10月8日



11月27日

リハビリ 転ばん体操教室

江南市の生活機能低下を早期から予防する介護予防事業施策として「お達人!!転ばん体操教室」が当院に委託され、平成25年9～10月に週1回、計8回開催しました。参加者みなさんの努力の結果、筋力や歩行速度の向上などの成果がみられました。

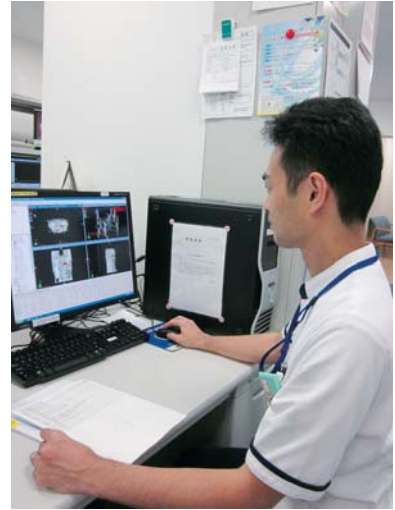


病院では様々な資格を持った多くのスタッフが、互いの専門性を生かしながら協力し合っ
て働いています。その中で今回は医学物理士のおシゴトを紹介します。

聞き慣れない名前ですが、放射線を用いた医療が適切に実施されるよう、医学物理学の専門家の立場から貢献する医療職のことです。欧米では約6,000名の医学物理士が活躍していますが、日本では700名程と少なく、多くの医療機関では放射線技師が資格を兼ねています。

仕事としては、放射線の検査や治療に用いられる装置の品質管理が挙げられますが、放射線治療分野での精度管理が主になっています。近年の放射線治療では、がんの形状に合わせて正確に放射線を照射することが求められています。医学物理士は患者さんの病巣に照射する放射線の量と形状が医師の処方(計画)通りになっているかを検証しています。

まだ認知度の低い職種ですが、患者さんの負担が少しでも軽減され、安心して放射線治療を受けて頂けるよう、努めていきます。



平成25年度災害拠点病院災害訓練

11月2日(土)江南市消防本部をはじめ近隣消防3機関、江南市役所、江南警察署、高屋地区自主防災会・消防団第2分団と合同で、大規模災害を想定した災害訓練を実施しました。

今回の訓練は、東海・東南海・南海連動型地震の発災後に、病棟で火災が発生したとの想定で、まず、消防署への通報、初期消火、避難誘導を行い、その後、院内に大きな被害がないことを確認し、医療続行の決定により、救護所等を設営し、被災者の受け入れ(トリアージ)と応急救護を総勢400名で行いました。

院内の被災状況報告では、在院患者および職員
の安否や設備等の被害状況を確認し、可能な限り

全ての部署の被災状況を把握できるようにしまし
た。

また、ガス漏れを想定し、ガスの緊急遮断弁を作
動させ、ガスの供給を停止し、東邦ガスによるガス漏
れ点検、復旧訓練を行いました。

さらに、家屋倒壊や多重事故により地域住民が被
害した想定で、各消防機関および高屋地区自主防
災会・消防団第2分団による救出訓練・救急搬送訓
練を行いました。

訓練により判明した課題を整理し、今後も地域医
療を守るために、大規模災害発災時に適確な対応が
できるよう、病院の体制づくりに取り組んでいきま
す。



看護学生インターンシップのお知らせ

探検しよう！ 江南厚生病院



平成26年
期間 2月24日(月)～3月28日(金)

※1月14日(火)より申込受付開始

参加希望日の1週間前までにお申込ください。

お問い合わせ 看護管理室 副看護部長 山本美奈子 ■e-mail kango@konan.jaaikosei.or.jp

医療技術職合同病院説明会のお知らせ

県下に8病院を有する愛知県厚生連の主催で、合同病院説明会を開催いたします。参加希望の方は事前にお申し込み下さい。

開催日時

平成26年**3月21日(金・祝)**
 12時30分～18時(受付12時～14時)

場所

名古屋国際会議場 イベントホール
 白鳥ホール、他

- 対象職種** 薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、臨床工学技士、リハビリ技師(OT・PT・ST)、看護師、ソーシャルワーカー、介護福祉士

- 内容(予定)** ・厚生連組織の紹介
 ・職種代表者より、職種に特化した講演
 ・職種ごとに、各病院のブースを設置

●お問い合わせ

JA愛知厚生連 人事課 (0561) 62-3163

●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付が新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

●面会時間のご案内

平日	15:00～20:00
土・日曜日・祝日	13:00～20:00

- ※4人床の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。
- ※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

編集後記

- 夏号では校正ミスがあり、読みづらい紙面になってしまいお詫び申し上げます。少しでも読みやすい広報誌になるよう、委員一同紙面作成に努めています。今後とも温かく見守っていただくと幸いです。今年一年が良い年でありますことを祈念いたします。

2014年 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です)

● 午後休診

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

●発行日/平成26年1月1日

●発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300